第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | 再生コンクリート

再生コンクリート

座長:坂井吾郎(土木),辻埜真人(建築)
2024年6月27日(木) 13:15 〜 15:00 第1会場 (小展示室A)

[1181]再生骨材コンクリートによる CO_2削減効果の可能性に関する検討

松田信広[1], 伊代田岳史[2] (1.東京テクノ 2.芝浦工業大学)

キーワード：低品質再生骨材、再生骨材コンクリート、炭酸化技術、CO_2固定量、CO_2排出量

脱炭素社会の実現に向けて， CO_2固定量を考慮した再生骨材コンクリートの CO_2削減効果の可能性について検討する必要がある。本研究では， CO_2を固定化する技術により改質した再生骨材のインベントリデータを構築し，改質再生骨材を用いたコンクリートについて，普通コンクリートと同一強度レベルでの CO_2削減効果ついて検討を行った。その結果，炭酸化による再生骨材の CO_2固定量の増大および改質再生骨材コンクリートの強度改善によって CO_2の削減効果を確認し， CO_2排出量の削減を定量的に示すことができた。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会